

# 自動車運送事業

## 1 沿革

大正14年6月19日に免許を受けて営業していた日乃出バス株式会社は、昭和28年12月17日に阪急バス株式会社の傘下に入った。翌昭和29年1月5日、高槻市長は、阪急バス株式会社との連署により、運輸大臣に対し、日乃出バスの経営に係る事業の譲渡譲受の申請を行い、同年2月3日認可を受け、同25日から大阪府内衛星都市で唯一の公営バス事業として運行を開始した。

## 2 現況

令和4年度、市営バスを取り巻く環境は、新型コロナウイルスの影響はあるものの、乗降者数は前年度に引き続き増加となった。社会はコロナ禍以前の賑わいを取り戻しつつある一方で、乗降客数は令和元年度比で約83%の回復にとどまっている。また、軽油価格が依然として高止まりを続けているほか、電気及びガス代をはじめとする各種の単価高騰が費用を圧迫するといった厳しい状況が続いている。

こうした状況下のため、お客様の乗降実態に即したダイヤ改正に伴う人件費の抑制や減車による経費の削減等に取り組むとともに、収益面ではPiTaPa割引制度を一部見直すことでの増収を図ったほか、「市営バス経営戦略」に基づき、安全・安心、快適でより良いサービスの提供に努めた。

### (1) 事業概要

#### ① 利用実態に即したダイヤ編成への取組

令和4年4月1日のダイヤ改正では、ODデータを基に利用実態に即して最終便の時刻繰り上げ等を行った。また、令和4年12月1日には、関西将棋会館建設に伴いJR高槻駅西滞留所を廃止し、新たに川西滞留所の運用を開始したことに合わせたダイヤ改正を実施した。

#### ② 建設改良事業

安全及び円滑な輸送を確保するため、大型バス13台についてドライバー異常時対応システムを搭載した車両に更新するとともに、経費削減のため大型バス1台及び貸切バス1台を売却した。

滞留所施設等の改善事業としては、令和5年度からの新規路線開設に伴う安満遺跡公園などのバス停上屋及び標識柱を整備したほか、JR摂津富田駅東滞留所乗り場部分の路面補修工事を実施した。

関西将棋会館移転に伴い、建設予定地であるJR高槻駅西滞留所を売却するとともに、代替場所として新たに市で整備した川西滞留所の運用を開始した。

#### ③ バス利用促進

令和4年度は、新型コロナウイルスの影響があるものの、感染状況を注視しながら今後の市営バス事業の在り方を見据えて、後述の取組を行った。

お客様に安心して市営バスにご乗車いただけるよう、車内換気や定期的な消毒、乗務員のマスク着用等について継続するとともに、コロナの感染状況に応じて前方座席の利用停止解除などの対応を行った。

子育て世代への支援として、「こうのとりのバス」(市内在住の妊娠中の方及びその同伴者の運賃を1乗車につき全線100円とする特別運賃制度)を継続するとともに、市内在住の乳児の同伴者2名の運賃を1乗車につき全線100円とする特別運賃制度として、「かるがもバス」の運用を開始した。

市民や市内大学の学生を対象に、「バスの上手な利用方法」や「高槻市における公営バス事業について」に関する出前講座を実施した。

観光政策との連携として、関西将棋会館の本市への移転を記念した「高槻将棋ライナー」、市の観光大使を起用した「高槻やよいライナー」及び「たかつき観光大使アーティスト号」などのラッピングバスを運行した。

小・中学生を対象とし、お得な料金で夏・冬・春の長期休暇期間に市営バス全線利用可能な「おでかけバス」の販売及び運用を行うとともに、冬季期間前には、販売促進を目的に、価格を3分の1に値下げをして販売した。

高槻市観光協会が運用している「たかつき観光アプリ」内で、キャッシュレス決済専用の「市営バス1dayスマート乗車券」の販売及び運用を行った。

令和5年度からの前島・安満遺跡公園方面への新たな路線の運行開始を記念し、市の観光大使(高槻やよいさん)を起用した記念乗車券を製作し販売した。また、前述の「高槻やよいライナー」では、バスの方向幕及び車内の音声案内についても高槻やよいさんと連携した取組を行った。

みどりのカーニバル、スルッとKANSAIバスまつり、高槻産業フェスタ2022、車庫見学、オープンたかつきにおいてバス車両を展示及び公開するなど、コロナの感染防止に配慮したうえで、市営バスと触れ合う機会の創出に努めた。

市民及び利用者へのモビリティマネジメント(MM)として、高槻市交通安全推進協議会や高槻警察等と連携し、「親と子の交通安全教室」に参加した。また、市の観光PR施策である「BOTTOたかつき」と連携し、バス車両の型番など専門性の高い内容を紹介する「BOTTO市バス」を制作し、YouTubeで公開した。さらに、ケーブルテレビによる市の広報番組において、市営バスの便利でお得なサービスについて詳しく紹介した。

子ども未来部保育幼稚園事業課が実施する送迎保育ステーション事業と連携した貸切バス事業を実施した。

市民及び利用者への情報提供として、以上の取組等について市営バス専用ホームページで適宜・適切に情報を発信するとともに、同ホームページや市営バス公式Twitterにより、バスの運休や運行状況のお知らせ及び各種のエンタメ情報を発信した。

#### ④ バス停留所施設の充実等

お客様に快適性を提供するため、JR高槻駅北時刻案内表示板やJR富田駅乗降場照明のLED化とバス停ベンチの設置、JR高槻駅南バス停上屋の清掃を行った。

#### ⑤ 「安全・安心」への取組

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、乗務員によるバスの車内消毒のほか、車内換気のため一部の窓を開放して運行を行った。

また、誰もが安心して円滑にご利用頂けるよう、国土交通省による「接遇研修モデルプログラム バス編」を活用し、様々なお客様の特性に対する認識を図ることで、現場で実践できるよう

接遇向上の一環として乗務員研修を行った。

## ⑥ 市営バス経営戦略の推進

令和4年度が計画の2年目となる「市営バス経営戦略」について、4つの基本戦略とそれに基づく個別戦略ごとの各種の具体的取組を推進し、その成果や今後の課題等を自動車運送事業審議会（計2回開催）で報告した。審議会においては、交通部の取組に対して一定の評価をいただくとともに、コロナ禍収束後の市営バス事業の回復を見据え、引き続き、快適で質の高いサービスやまちづくりを提供するとともに、更なる経営基盤の強化に努めることなど、次年度以降に向けた提言や課題改善に係るご意見をいただいた。

以下に、主要な具体的取組に係る進捗状況及び今後の課題を記載する。

令和3年3月に全面開園した「安満遺跡公園」へのアクセス向上を踏まえ、令和5年4月1日から「前島・安満遺跡公園線」の運行を開始する。

収支状況が厳しい山間部3路線（田能・萩谷・川久保）について、市の交通政策と連携し、地域住民との意見交換会を実施するとともに、新たな交通手段に係る情報収集や導入事例を調査した。また、コロナ禍における当該路線のご利用状況を把握するため、ODデータの分析を行った。

更なるODデータの活用を見据え、交通分野のデータ分析等を専門としている民間企業と連携し、ODデータ集計システムの開発に係る共同研究に取り組んだ。

## （2）経営状況

令和4年度の収支については、収入総額は38億5,952万4,831円（前年度比較、8億1,407万9,813円、26.7%増加、以下（）内は前年度対比の増減額及び増減率）、支出総額は33億7,510万5,849円（3,628万1,654円、1.1%増加）で、当年度純利益は4億8,441万8,982円となった。

黒字の要因については、主に関西将棋会館移転に伴うJR高槻駅西滞留所売却益によるものである。なお、この売却益である5億1,428万3,823円を除いた実質の収支では、2,986万4,841円の純損失となり、これは令和2年度の純損失5億897万1,500円及び令和3年度の純損失2億9,337万9,177円と比較して大幅な改善となった。

この結果、前年度からの繰越利益剰余金23億1,340万6,316円と合わせて、27億9,782万5,298円が当年度末の未処分利益剰余金となった。

主な収入支出の内容は、収入では、乗合収入27億9,359万6,587円（2億9,594万3,463円、11.8%増加）、貸切収入4,639万9,768円（191万3,309円、4.0%減少）となった。

このほか、広告料などの運送雑収益は4,727万4,488円（140万103円、3.1%増加）、他会計補助金などの営業外収益は4億5,797万165円（818万2,420円、1.8%増加）となり、特別利益は5億1,428万3,823円（5億1,046万7,136円、著増）となった。

支出では、人件費23億7,156万1,439円（4,144万8,721円、1.7%減少）、燃料油脂費2億4,459万2,547円（1,324万3,411円、5.7%増加）、車両修繕費1億6,129万1,273円（244万8,543円、1.5%増加）、経費2億7,612万1,892円（108万2,946円、0.4%減少）、減価償却費ほかは3億793万2,942円（6,143万7,595円、24.9%増加）となった。

これらにより、当年度末における正味運転資本は、前年度末より1億9,956万2,281円増加し

て31億7,323万4,557円となった。

また、業務量については乗合、貸切を合計した総走行キロ数は、497万6,977.9km(40,328.2km、0.8%減少)となり、輸送人員は、1,642万6,020人(180万1,545人、12.3%増加)となった。以上が令和4年度における事業の主要内容である。

今後においては、軽油価格の高止まりをはじめ、各種単価高騰が続くなど、引き続き厳しい経営環境が予想される。そのため、「市営バス経営戦略」に沿った経営改善を着実に実施し、乗降客数の実態に応じた事業展開を行うことで、健全経営となるよう収支均衡を図るとともに、市民の皆様々に真に必要なとされ、愛される市営バスを目指していく。

① 自動車運送事業会計決算状況

(単位：円)

年度 \ 区分	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
令和4年度	3,859,524,831	3,375,105,849	110,337,177	715,768,530
令和3年度	3,045,445,018	3,338,824,195	10,034,314	631,320,040
令和2年度	2,833,715,717	3,342,687,217	404,598,520	249,766,676

② 自動車運送事業損益状況及び繰入金状況(決算額)

(単位：円)

区分 年度	収 益	費 用	損 益	一般会計繰入金			
				営業収益	営業外収益	特別利益	資本的収入
令 4	3,859,524,831	3,375,105,849	484,418,982	782,464,325	425,148,200	0	0
令 3	3,045,445,018	3,338,824,195	△293,379,177	708,183,750	417,679,000	0	0
令 2	2,833,715,717	3,342,687,217	△508,971,500	690,000,000	331,960,000	0	0

## ③ 人件費比率(決算額)

(単位:円, %)

区分 年度	人 件 費 (A)	総 収 益 (B)	総 費 用 (C)	収 入 比 率 (A) / (B)	費 用 比 率 (A) / (C)
令和4年度	2,371,561,439	3,859,524,831	3,375,105,849	61.45	70.27
令和3年度	2,413,010,160	3,045,445,018	3,338,824,195	79.23	72.27
令和2年度	2,466,531,825	2,833,715,717	3,342,687,217	87.04	73.79

## ④ 輸送人員の推移(一般乗合)

区分 年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
輸 送 人 員	10,365,468	9,094,887	8,614,154	12,163,221	14,390,780
指 数	72.03	63.20	59.86	84.52	100.0
前年度との増減	1,270,581	480,733	△3,549,067	△2,227,559人	△716,055人

※ 輸送人員は、高齢者などの福祉無料乗車券発行による人員を除いた数

⑤ 運輸成績（一般乗合）

区 分	令和4年度	1日当たり	令和3年度	1日当たり
実在車両数	58,050 日車	159 両	58,039 日車	159 両
実働車両数	48,278 日車	132 両	49,169 日車	135 両
実働率	83.2%	—	84.7%	—
実車走行キロ	3,978,754.9 km	10,900.7 km	4,076,377.5 km	11,168.2 km
輸送人員	16,315,164 人	44,699 人	14,532,517 人	39,815 人
平均乗車密度	14.8 人	—	10.8 人	—
運送収益	2,793,596,587 円	7,653,689 円	2,497,653,124 円	6,842,885 円
キロ当たり収入	840 円 78 銭	—	746 円 16 銭	—
キロ当たり費用	847 円 08 銭	—	818 円 13 銭	—

※ キロ当たり収入及び費用は、実車走行キロ当たり経常収益及び経常費用

⑥ 運賃改定状況（一般乗合）

実施年月日	平成14年度制度・券種追加	平成18年度定期券割引制度変更	平成26年4月1日	令和元年10月1日	令和3年11月1日
認可年月日	平成18年3月8日		平成26年3月4日		
普通旅客運賃	均一制運賃	210円		220円	
	対キロ区間制運賃 基準貨率 最低運賃	31円80銭 140円（小児70円）		33円30銭 140円（小児70円）	
	一日乗車券等	平成15年3月17日実施 ・均一1dayカード630円（小児300円） ・均一2dayカード1000円（小児無し） ・全線1dayカード1000円（小児500円） 一日乗車券廃止			
定期旅客運賃 割引率等	遠距離通増割引 大学・高校：10kmを超え15kmまで5割引、15kmを超える部分は8割引 中学：10kmを超え15kmまで6割引、15kmを超える部分は8割引	遠距離通増割引 大学・高校 4.7kmまで4割引 4.8km以上9割引 中学 4.7kmまで5割引 4.8km以上9割引	通勤 1か月：「基準運賃-平成26年4月の値上げ額」の3割引 3か月：1か月の3倍の5分引 通学 (大学・高校) 1か月：「基準運賃-平成26年4月の値上げ額」の4割引 3か月：1か月の3倍の5分引(中学) 1か月：「基準運賃-平成26年4月の値上げ額」の5割引 3か月：1か月の3倍の1割引(小児) 1か月：中学の半額 3か月：中学の半額	通勤 1か月：3割引 3か月：1か月の3倍の5分引き 通学 (大学・高校) 1か月： 4.7kmまで4割引 4.8km以上9割引 3か月 1か月の3倍の5分引 学期 4.7kmまで4割引 の5分引き 4.8km以上9割引の5分引(中学) 1か月：4.7kmまで5割引の1割引 4.8km以上9割引 3か月：1か月の3倍の1割引 学期：4.7kmまで5割引の1割引(小児) 1か月：中学の半額 3か月：中学の半額 学期：中学の半額	
回数旅客運賃	普通： 70円券11枚綴り 700円 100円券11枚綴り 1,000円 210円券10枚と 100円券1枚綴り 2,000円 270円券11枚綴り 2,700円	普通： 70円券11枚綴り 700円 110円券11枚綴り 1,100円 220円券10枚と 50円券1枚綴り 2,000円 280円券11枚綴り 2,700円	普通： 70円券11枚綴り 700円 110円券11枚綴り 1,100円 220円券10枚と 50円券1枚綴り 2,000円 280円券11枚綴り 2,700円	廃止	
	昼間割引 100円券13枚綴り 1,000円 210円券12枚と 100円券1枚綴り 2,000円 270円券13枚綴り 2,700円	昼間割引： 110円券13枚綴り 1,100円 220円券12枚と 50円券1枚綴り 2,000円 280円券13枚綴り 2,700円	昼間割引： 110円券13枚綴り 1,100円 220円券12枚と 50円券1枚綴り 2,000円 280円券13枚綴り 2,700円	廃止	
		平成15年3月17日実施 回数カード： 発売額（利用額） 普通1,000円 (1,100円) 普通2,000円 (2,200円) 普通4,000円 (4,400円) 昼間2,000円 (2,600円) 昼間4,000円 (5,200円)	回数カード： 発売額（利用額） 普通1,100円 (1,210円) 普通2,000円 (2,250円) 普通4,000円 (4,500円) 昼間2,000円 (2,690円) 昼間4,000円 (5,380円)	廃止	
特定近距離割引 (平成9年6月1日実施) *均一制運賃地域内で乗降 区間が1.5km以内に適用	回数券 210円券12枚綴り 2,100円	220円券12枚綴り 2,100円	廃止		
	定期券 1か月 8,400円 3か月 23,940円		1か月 8,820円 3か月 25,140円		
専用IC旅客運賃（Tsukica）			普通割引 1,000円チャージに対して100円のプレミア付与 昼間割引 昼間割引適用時間帯 (10:00～15:30)のご利用毎に190円(均一運賃区間の場合)を引き去り 乗継割引 第1精算の降車から第2精算の乗車が60分以内の場合に100円(大人)を割引 普通割引 1,000円チャージに対して100円のプレミア付与 昼間割引 昼間割引適用時間帯 (9:30～16:00)のご利用毎に190円(均一運賃区間の場合)を引き去り 乗継割引 第1精算の降車から第2精算の乗車が60分以内の場合に100円(大人)を割引		
環境定期券制度 (平成19年度4月1日改定)	定期券面表示区間内、地域内	定期券所持者 0円	同伴の同居家族 大人100円 小児50円		
* ( ) 内の金額は平成14年度 制度導入時	定期券面表示区間外、地域外	100円 (100円～300円)	大人100円 小児50円 (50円～150円)		

⑦ 路線別事業成績

年度・路線	起 点 ～ 終 点	停留所数 (か所)	キロ程 (km)	年間走行 キロ (km)	年間輸送人員 (人)
平成30年度		260	125.27	4,363,627.8	20,296,682
令和 元年度		264	126.53	4,377,793.2	19,681,170
令和 2年度		264	126.53	4,331,902.2	13,945,495
令和 3年度		264	126.53	4,076,377.5	14,532,517
令和 4年度		259	126.63	3,978,754.9	16,315,164
1 日 吉 台	J R高槻駅北～中央公園～J R高槻駅北	11	6.80	205,715.2	1,380,212
2 芝 谷	J R高槻駅北～緑が丘～寺谷町	13	4.70	161,557.8	799,354
3 美 し が 丘	寺谷町～美しが丘・別所本町公園～J R高槻駅南～阪急高槻駅～ 別所本町公園・美しが丘～寺谷町	18	10.30	117,415.3	493,136
4 原 ・ 上 の 口	J R高槻駅北～服部～上の口～原大橋	16	7.10	485,290.0	2,404,421
5 塚 脇 ・ 下 の 口	J R高槻駅北～服部～塚脇・下の口～J R高槻駅北	19	9.40	106,792.8	442,327
6 田 能	J R高槻駅北～原大橋～田能・二料・杉生・中畑回転場	37	20.80	132,865.7	194,421
7 南 平 台 東	J R高槻駅北～ササガ前～二中前～平安女学院大学～関西大学	19	8.00	298,913.4	1,068,378
8 国 道	J R高槻駅北～ササガ前・郡家～J R富田駅、川西滞留所～J R高 槻駅北	18	5.20	15,556.8	40,965
9 奈 佐 原	J R高槻駅北・J R富田駅～南平台～奈佐原～J R富田駅・J R高 槻駅北	22	10.30	115,869.2	405,503
10 萩 谷	J R高槻駅北・J R富田駅～奈佐原～萩谷	29	11.90	158,389.9	334,816
11 阿武山・塚原	J R高槻駅北・J R富田駅～公団阿武山・西塚原～J R富田駅・ J R高槻駅北	34	9.10	503,788.7	2,728,425
12 富 田 芝 生	阪急富田駅～栄町・富田団地～阪急富田駅	16	6.60	44,820.0	110,391
13 富 田 南	J R高槻駅南～如是校前～阪急富田駅	13	5.40	62,450.0	184,958
14 芝 生 住 宅	阪急富田駅～如是校前～芝生住宅～阪急富田駅・車庫前	13	5.80	34,530.6	80,289
15 栄 町	J R高槻駅南～如是校前～車庫前、阪急富田駅～栄町～阪急富 田駅・車庫前	24	7.70	64,824.2	217,530
16 富 田 団 地	J R高槻駅南～芝生住宅東口～富田団地	14	6.30	222,597.9	896,173
17 玉 川 橋	J R高槻駅南～竹の内小学校前～玉川橋団地	17	8.10	32,570.1	86,395
18 柱 本 ・ 三 島 江	J R高槻駅南～車庫前～柱本団地・三島江～J R高槻駅南	22	18.70	236,027.8	620,727
19 下 田 部	J R高槻駅南～下田部団地～車庫前	15	7.10	166,500.7	685,081
20 大 塚	J R高槻駅南～天川町・天王町～北大塚	20	6.30	216,943.0	972,898
21 前 島 ・ 六 中	J R高槻駅南～野田～六中前・前島・クビダ前島	14	5.90	120,338.4	459,105
22 道 鶴	J R高槻駅南～阪急高槻駅～野田～道鶴町～阪急上牧駅～J R高 槻駅南	21	18.10	213,744.6	877,587
23 梶 原	梶原東～J R高槻駅南～阪急高槻駅～梶原東	14	9.50	63,704.5	100,066
24 成 合 ・ 川 久 保	川久保・上成合・公園墓地～J R高槻駅南～阪急高槻駅～公園墓地・ 上成合・川久保	23	12.80	197,548.3	732,006